

履修モデル作成者：金藤 正直

テーマ：企業や地域が行っている環境経営の取り組みを学ぶためのポイント

関連の深いコース：サステイナブル経済・経営コース

1. このテーマを学ぶために

従来の企業（製造業や非製造業）の取り組みとは、顧客・消費者のニーズに応じた商品やサービスを提供し、業績（儲け）を上げていくために、継続的に運営し、管理するといった経営活動が中心でした。しかし、1990年代から、国内外で地球環境問題の関心が高まり、また、それによって法規制の整備や政策の策定・実施がなされたことから、企業は、環境影響に配慮した経営活動である環境経営も、現在あるいは将来における業績を左右する重要な取り組みとして位置づけてきました。これ以降、各企業は、国内外における地球環境問題に関する政策的な動きや経営的な取り組みに注目しながら、環境経営を積極的に行ってています。

そこで、企業における環境経営の取り組みを理解していくためには、まず、**経営学入門**、**環境経営と会計**、**現代企業論**を履修し、これら3つの講義の中で、企業が、どのような方針を設定し、この方針に基づいてどのような組織を作り、どのような運営・管理を行っているのか、という経営手法の基礎基本を学習していくことが必要です。これらの基幹科目を学習した後に、**環境経営論I**を履修することにより、環境経営の目的、意義、手法等を理解できるだけではなく、各企業で行われている環境経営を自分自身で多面的に分析・評価できる能力も身につけることができます。

以上の講義を基礎にして、**環境マネジメントスタディーズI・II**や**環境ビジネス論**を履修すれば、環境経営の実践的な取り組みをより深く理解することができます。また、**CSR論I・II**では、環境経営での管理対象とされる経済面や環境面に、雇用関係や人権等の社会面を加味した企業による取り組みの起源や現状を学習することができます。

さらに、企業が現在または将来において実施すべき新たな環境経営や、企業と国や自治体による地球環境問題や社会問題に対するさまざまな取り組みとの関係を理解していくためには、**環境経営論II**、**環境経済論I・II**、**国際環境政策I・II**、**各種環境法**、**自治体環境政策論I・II**、**地球環境政治論**、**エネルギー政策論**、**地域形成論**、**地域経済論I・II**、**都市環境論I・II**、**環境社会論I・II・III**、**環境教育論**を履修してください。

2. テーマに関連した推奨科目

①基幹科目

経営学入門、環境経営と会計、現代企業論

②政策科目

- 1) 経済・経営：環境経営論I・II、環境マネジメントスタディーズI・II、環境ビジネス論、CSR論I・II、環境経済論I・II、国際環境政策I・II
- 2) 法律・政治：各種環境法、自治体環境政策論I・II、地球環境政治論、エネルギー政策論
- 3) 社会・地域：地域形成論、地域経済論I・II、都市環境論I・II、環境社会論I・II・III
- 4) 環境総合：環境教育論